



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 I D E C株式会社  
 コード番号 6652 URL http://jp.idec.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 船木 俊之  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理担当 (氏名) 西山 嘉彦 TEL 06-6398-2500  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年11月26日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	34,856	37.3	4,853	198.5	5,022	230.6	3,526	223.5
2021年3月期第2四半期	25,387	△14.8	1,626	△35.4	1,519	△37.9	1,090	△41.1

（注）包括利益 2022年3月期第2四半期 4,746百万円（－％） 2021年3月期第2四半期 336百万円（△32.3％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	117.58	117.58
2021年3月期第2四半期	35.89	35.89

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	92,461	47,306	50.8
2021年3月期	88,252	43,111	48.7

（参考）自己資本 2022年3月期第2四半期 46,990百万円 2021年3月期 42,963百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2022年3月期	—	40.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有  
 詳細は、本日公表の「剰余金の配当および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,000	27.8	9,200	127.6	9,200	124.2	6,900	146.1	230.04

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	33,224,485株	2021年3月期	33,224,485株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	3,223,353株	2021年3月期	3,231,165株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	29,994,407株	2021年3月期2Q	30,376,841株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12
3. 補足情報	13
(1) 連結業績概要	13
(2) 製品別売上高	13
(3) 仕向地別売上高	14
(4) 受注実績	15
(5) キャッシュ・フローの状況	15
(6) 設備投資額	15
(7) 減価償却費	15
(8) 研究開発費	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、全世界的にコロナ禍からの経済正常化が急速に進み、当社グループの主要顧客である製造業の設備投資需要も予想を遥かに超える高い水準で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループにおいては、昨年度よりすでに需要が急拡大している中国のみならず、日本・欧米の主力全地域において、半導体関連・自動車関連・工作機械・ロボット業界等の需要が大幅に回復、急拡大したことから、主力のスイッチ事業を中心に売上が増加した結果、国内売上高は146億4千9百万円（前年同期比27.4%増）となりました。

海外においては、中国のみならず、米州及びEMEAにおいても、コロナ禍からの経済の正常化、需要の急拡大が進み大幅に受注が増加して前年同期を大きく上回りました。その結果、海外売上高は202億6百万円（前年同期比45.5%増）となりました。

利益面におきましては、主に売上高が大幅に増加したことによりそれぞれ、営業利益は前年同期に比べ、32億2千7百万円増益の48億5千3百万円（前年同期比198.5%増）となり、経常利益は前年同期に比べ、35億3百万円増益の50億2千2百万円（前年同期比230.6%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ、24億3千6百万円増益の35億2千6百万円（前年同期比223.5%増）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における対米ドルの平均レートは、109.81円（前年同期は106.93円で2.88円の円安）、対ユーロの平均レートは、129.88円（前年同期は119.34円で10.54円の円安）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の業績は次のとおりであります。

#### 【日本】

日本においては、半導体関連・自動車関連・工作機械・ロボット業界等の需要が大幅に回復、急拡大したことから、主力のスイッチ事業を中心に受注が予想を遥かに超える水準で増加した結果、売上高は前年同期に比べ、35億6千6百万円増収の163億1千1百万円（前年同期比28.0%増）となり、営業利益は前年同期に比べ、14億6千9百万円増益の22億6千5百万円（前年同期比184.8%増）となりました。

#### 【米州】

北米地域においては、一般的に需要が急拡大した結果、売上高は前年同期に比べ、17億3千2百万円増収の57億3千1百万円（前年同期比43.3%増）となり、営業利益は前年同期に比べ、7億8千5百万円増益の8億6千6百万円（前年同期比975.4%増）となりました。

#### 【欧州、中東及びアフリカ（以下、EMEA）】

欧州においても、日本及び米州同様、コロナ禍からの需要の回復は急速に進み、制御用操作スイッチなど主力のスイッチ事業の売上が増加したことに加え円安の影響も受けた結果、売上高は前年同期に比べ、20億2百万円増収の61億8百万円（前年同期比48.8%増）となり、営業損益は前年同期に比べ、4億8千6百万円増益の2億6千3百万円の利益となりました。

#### 【アジア・パシフィック】

アジア・パシフィック地域においては、中国において昨年度に引き続き需要の急拡大が進み、他のアジア地域も堅調に需要回復が進んだことから、主力製品であるスイッチ事業の制御用操作スイッチやインダストリアルコンポーネンツ事業の制御用リレーの売上が大幅に増加した結果、売上高は前年同期に比べ、21億6千7百万円増収の67億5百万円（前年同期比47.8%増）となり、営業利益は前年同期に比べ、4億7千4百万円増益の13億3千8百万円（前年同期比54.9%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の製品種類別の売上高は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、製品種類別の区分を一部変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後の製品種類区分に組み替えた数値で比較しております。

【スイッチ事業】

中国を中心としたアジア・パシフィック、日本、米州、EMEAの全地域において、主に設備投資需要が急拡大した結果、売上高は前年同期に比べ、45億6百万円増収の163億4千万円（前年同期比38.1%増）となりました。

※HMI（Human Machine Interface：人と機械が触れ合う環境）の核となる、「制御用操作スイッチ」や「ジョイスティック」、「表示灯」などの製品群です。

【インダストリアルコンポーネンツ事業】

主力市場である米州及び中国市場での制御用リレーの売上が増加した結果、売上高は前年同期に比べ、19億4千万円増収の67億2千4百万円（前年同期比40.6%増）となりました。

※機械や生産ラインなどを制御・操作するための制御盤の中に組み込み、機械・装置の制御部分の基礎として使用される、「スイッチング電源」、「端子台」、「制御用リレー／ソケット」、「サーキットプロテクタ」などの製品群です。

【オートメーション事業／センシング事業】

日本、米州に加えEMEAにおいても、プログラマブル表示器やプログラマブルコントローラの需要が急速に回復した結果、売上高は前年同期に比べ、14億6千9百万円増収の50億7千4百万円（前年同期比40.8%増）となりました。

※産業現場や暮らしのさまざまなシーンにおける機器の自動化に貢献する各種製品、機械・装置の頭脳の役割をする「プログラマブルコントローラ」や、快適な機械・装置の操作環境を実現する「プログラマブル表示器」に加え、リテールや物流分野などさまざまな分野で活用されている「自動認識機器」などの製品群です。

【安全・防爆事業】

国内外ともに設備投資需要が順調に回復し、売上高は前年同期に比べ、12億3千万円増収の43億1千6百万円（前年同期比39.9%増）となりました。

※産業現場の安全を守る「安全スイッチ」や「イネーブル装置」といった「安全関連機器」に加え、石油・化学プラントなど、爆発性のガスが存在する現場での事故を未然に防ぐ「防爆関連機器」などの製品群です。

【システム】

日本において引き続き、半導体・液晶製造装置用等の制御盤の売上が増加したことにより、売上高は前年同期に比べ、1億2千4百万円増収の17億5千5百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

※顧客ニーズに合わせてIDECの製品をシステム化してご提供する「各種システム」、安全関連機器・安全技術を組み合わせて最適なシステムを構築する「協働ロボットシステムソリューション」などの製品群です。

【その他】

日本におけるメガソーラーや太陽光発電用電力マネジメントシステムの売上が回復した結果、売上高は前年同期に比べ、1億9千6百万円増収の6億4千4百万円（前年同期比43.9%増）となりました。

※メガソーラーや太陽光発電用電力マネジメントシステムをはじめとする「再生可能エネルギー事業」に加え、太陽光併用型農業プラントのトータルソリューションを提供する「次世代農業ソリューション」、幅広い分野での応用研究が進んでいる「ウルトラファインバブル（微細気泡）発生装置」などの事業や製品群です。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産の額は、前連結会計年度末より42億9百万円増加し、924億6千1百万円となりました。これは主に、現金及び預金が13億6千7百万円、売上債権が13億8千7百万円、棚卸資産が10億6千7百万円増加したことなどによるものです。

負債の額は、前連結会計年度末より1千4百万円増加し、451億5千4百万円となりました。これは主に、借入金が増加した一方で、仕入債務が16億4千7百万円増加したことなどによるものです。

純資産の額は、利益剰余金が27億7千6百万円、為替換算調整勘定が12億5千5百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末より41億9千5百万円増加し、473億6百万円となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より11億2千5百万円増加し、161億3千5百万円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、52億4千5百万円の収入となりました。これは主に、売上債権が12億2千5百万円増加、法人税等を9億8百万円納付、棚卸資産が8億2千4百万円増加した一方で、税金等調整前四半期純利益を50億2千2百万円計上したことや減価償却費を16億1千7百万円計上、仕入債務が15億3千1百万円増加したことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、16億7千3百万円の支出となりました。これは主に、固定資産の取得により10億2千4百万円、事業譲受により4億2千万円支出したことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、26億1百万円の支出となりました。これは主に、借入れによる収入が103億円あった一方で、借入金の返済により120億6千5百万円、配当金の支払いにより7億4千7百万円を支出したことなどによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今回、2022年3月期の連結業績予想を修正しております。

詳細は、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,783	18,150
受取手形及び売掛金	9,147	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	10,451
電子記録債権	741	824
商品及び製品	6,490	6,229
仕掛品	1,356	1,676
原材料及び貯蔵品	4,071	5,079
その他	1,273	1,239
貸倒引当金	△47	△47
流動資産合計	39,815	43,604
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,005	9,621
機械装置及び運搬具（純額）	3,167	2,893
工具、器具及び備品（純額）	1,402	1,585
土地	6,267	6,468
リース資産（純額）	240	263
使用権資産（純額）	878	908
建設仮勘定	1,131	720
有形固定資産合計	22,093	22,460
無形固定資産		
商標権	2,474	2,484
顧客関連資産	7,909	7,925
ソフトウェア	1,109	1,104
のれん	12,108	12,158
その他	63	58
無形固定資産合計	23,665	23,730
投資その他の資産		
投資有価証券	379	386
長期貸付金	154	141
退職給付に係る資産	308	308
繰延税金資産	1,090	1,120
その他	781	746
貸倒引当金	△37	△37
投資その他の資産合計	2,677	2,665
固定資産合計	48,436	48,856
資産合計	88,252	92,461

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,991	5,032
電子記録債務	1,360	1,967
短期借入金	4,850	3,950
1年内返済予定の長期借入金	2,730	2,855
リース債務	328	400
未払金	730	537
未払費用	2,612	2,434
未払法人税等	719	1,288
契約負債	—	449
前受金	157	—
預り金	274	202
製品保証引当金	17	17
その他	1,188	896
流動負債合計	18,959	20,032
固定負債		
長期借入金	20,365	19,374
リース債務	844	831
繰延税金負債	2,667	2,724
役員退職慰労引当金	37	42
退職給付に係る負債	1,688	1,627
資産除去債務	60	63
その他	517	457
固定負債合計	26,180	25,121
負債合計	45,140	45,154
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,056	10,056
資本剰余金	9,215	9,224
利益剰余金	28,076	30,853
自己株式	△5,329	△5,316
株主資本合計	42,018	44,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	88	66
為替換算調整勘定	860	2,115
退職給付に係る調整累計額	△4	△9
その他の包括利益累計額合計	944	2,172
新株予約権	148	227
非支配株主持分	—	89
純資産合計	43,111	47,306
負債純資産合計	88,252	92,461



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	25,387	34,856
売上原価	14,607	19,936
売上総利益	10,779	14,919
販売費及び一般管理費	9,153	10,066
営業利益	1,626	4,853
営業外収益		
受取利息及び配当金	27	20
持分法による投資利益	74	67
為替差益	250	118
デリバティブ評価益	—	32
その他	38	68
営業外収益合計	390	307
営業外費用		
支払利息	84	76
デリバティブ評価損	306	—
その他	106	62
営業外費用合計	497	138
経常利益	1,519	5,022
特別利益		
固定資産売却益	1	3
投資有価証券売却益	336	—
新株予約権戻入益	0	—
特別利益合計	338	3
特別損失		
固定資産売却損	0	3
固定資産廃棄損	53	0
特別損失合計	53	3
税金等調整前四半期純利益	1,804	5,022
法人税、住民税及び事業税	788	1,585
法人税等調整額	△74	△81
法人税等合計	714	1,504
四半期純利益	1,090	3,518
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	△8
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,090	3,526

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	1,090	3,518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△120	△22
為替換算調整勘定	△645	1,255
退職給付に係る調整額	12	△4
その他の包括利益合計	△753	1,228
四半期包括利益	336	4,746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	336	4,755
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△8

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,804	5,022
減価償却費	1,477	1,617
投資有価証券売却損益(△は益)	△336	—
のれん償却額	386	463
貸倒引当金の増減額(△は減少)	45	△1
退職給付に係る資産及び負債の増減額	23	△84
受取利息及び受取配当金	△27	△20
支払利息	84	76
為替差損益(△は益)	△242	△28
持分法による投資損益(△は益)	△74	△67
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△5	0
デリバティブ損益(△は益)	306	△32
固定資産売却損益(△は益)	△1	0
固定資産廃棄損	53	0
売上債権の増減額(△は増加)	1,164	△1,225
棚卸資産の増減額(△は増加)	△153	△824
前受金の増減額(△は減少)	15	△157
契約負債の増減額(△は減少)	—	449
未収入金の増減額(△は増加)	△6	85
仕入債務の増減額(△は減少)	△110	1,531
未払金の増減額(△は減少)	△397	△139
未払費用の増減額(△は減少)	△236	△209
未払又は未収消費税等の増減額	△232	10
預り金の増減額(△は減少)	55	△71
その他	△5	△208
小計	3,589	6,187
利息及び配当金の受取額	28	43
利息の支払額	△80	△77
法人税等の支払額	△661	△908
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,874	5,245
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△1,317
定期預金の払戻による収入	—	1,100
有価証券の取得による支出	△320	—
有形固定資産の取得による支出	△1,410	△855
有形固定資産の売却による収入	15	11
無形固定資産の取得による支出	△104	△168
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	379	—
事業譲受による支出	—	△420
長期貸付金の回収による収入	34	34
その他	26	△53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,383	△1,673

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	14,120	10,300
短期借入金の返済による支出	△15,170	△11,200
長期借入れによる収入	4,000	—
長期借入金の返済による支出	△873	△865
自己株式の取得による支出	△2,033	△0
配当金の支払額	△780	△747
非支配株主からの払込みによる収入	—	98
リース債務の返済による支出	△176	△198
その他	6	11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△907	△2,601
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19	155
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	564	1,125
現金及び現金同等物の期首残高	13,993	15,009
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,557	16,135

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

当社グループの主な履行義務は、物品の販売であり、国内販売においては収益認識会計基準の適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。また、輸出販売においては主にインコタームズ等で定められた貿易条件に基づきリスク負担が顧客に移転した時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、当該期首残高へ与える影響はありません。

また、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。また、「流動負債」に表示していた「前受金」及び「その他」の一部は、第1四半期連結会計期間より「契約負債」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法より組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 財務諸表 計上額
	日本	米州	EMEA	アジア・ パシフィック	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,744	3,999	4,105	4,538	25,387	—	25,387
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,949	204	574	2,480	6,209	△6,209	—
計	15,693	4,203	4,680	7,018	31,596	△6,209	25,387
セグメント利益又は 損失(△)	795	80	△222	863	1,516	109	1,626

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額109百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 財務諸表 計上額
	日本	米州	EMEA	アジア・ パシフィック	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	16,311	5,731	6,108	6,705	34,856	—	34,856
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	16,311	5,731	6,108	6,705	34,856	—	34,856
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,178	229	810	3,445	8,665	△8,665	—
計	20,490	5,960	6,918	10,151	43,521	△8,665	34,856
セグメント利益	2,265	866	263	1,338	4,733	119	4,853

(注) 1. セグメント利益の調整額119百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 主として一時点で充足される履行義務となりますが、一部、一定の期間にわたり充足される履行義務が含まれております。なお、一定の期間にわたり充足される履行義務として認識した金額は軽微であります。

## 3. 補足情報

## (1) 連結業績概要

## ①第2四半期連結累計期間

(単位：百万円、%)

	2021年3月期				2022年3月期			
	第2四半期	前年同期比	通期	前年比	第2四半期	前年同期比	通期予想値	前年比
売上高	25,387	85.2	53,983	92.5	34,856	137.3	69,000	127.8
営業利益	1,626	64.6	4,041	85.9	4,853	298.5	9,200	227.6
経常利益	1,519	62.1	4,104	89.0	5,022	330.6	9,200	224.2
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,090	58.9	2,803	93.3	3,526	323.5	6,900	246.1

## ②四半期別推移

(単位：百万円)

	2021年3月期				2022年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	12,837	12,549	13,750	14,845	17,270	17,585	—	—
営業利益	845	780	1,133	1,281	2,300	2,552	—	—
経常利益	806	712	1,130	1,454	2,436	2,586	—	—
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	570	519	499	1,213	1,799	1,727	—	—

## (2) 製品別売上高

## ①第2四半期連結累計期間

(単位：百万円、%)

	2021年3月期				2022年3月期			
	第2四半期	前年同期比	通期	前年比	第2四半期	前年同期比	通期予想値	前年比
スイッチ事業	11,834	82.8	25,054	91.7	16,340	138.1	32,400	129.3
インダストリアルコン ポーネンツ事業	4,783	90.3	9,803	94.8	6,724	140.6	13,900	141.8
オートメーション事業 /センシング事業	3,604	78.3	8,203	91.6	5,074	140.8	9,200	112.2
安全・防爆事業	3,086	93.4	6,513	97.8	4,316	139.9	8,500	130.5
システム	1,630	115.6	3,516	115.4	1,755	107.7	4,000	113.7
その他	448	50.2	891	44.1	644	143.9	1,000	112.2
合計	25,387	85.2	53,983	92.5	34,856	137.3	69,000	127.8

## ②四半期別推移

(単位：百万円)

	2021年3月期				2022年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
スイッチ事業	6,203	5,630	6,495	6,725	8,115	8,225	—	—
インダストリアルコンポーネンツ事業	2,491	2,292	2,469	2,550	3,264	3,459	—	—
オートメーション事業／センシング事業	1,629	1,975	2,164	2,433	2,499	2,574	—	—
安全・防爆事業	1,595	1,491	1,618	1,808	2,085	2,231	—	—
システム	724	906	775	1,111	901	853	—	—
その他	193	254	227	215	403	240	—	—
合計	12,837	12,549	13,750	14,845	17,270	17,585	—	—

## (3) 仕向地別売上高

## ①第2四半期連結累計期間

(単位：百万円、%)

	2021年3月期				2022年3月期			
	第2四半期	前年同期比	通期	前年比	第2四半期	前年同期比	通期予想値	前年比
国内売上高	11,499	82.8	24,638	87.9	14,649	127.4	29,300	118.9
海外売上高								
米州	3,897	82.4	8,509	92.5	5,725	146.9		
EMEA	4,103	72.0	8,869	86.3	5,972	145.5		
アジア・パンフィック	5,887	107.3	11,965	110.4	8,509	144.5		
海外売上高 計	13,887	87.2	29,344	96.8	20,206	145.5	39,700	135.3
合計	25,387	85.2	53,983	92.5	34,856	137.3	69,000	127.8

## ②四半期別推移

(単位：百万円)

	2021年3月期				2022年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
国内売上高	5,732	5,767	6,126	7,012	7,343	7,305	—	—
海外売上高								
米州	1,971	1,925	2,322	2,289	2,715	3,009	—	—
EMEA	2,257	1,846	2,348	2,417	2,975	2,996	—	—
アジア・パンフィック	2,876	3,010	2,953	3,125	4,234	4,274	—	—
海外売上高 計	7,105	6,782	7,623	7,832	9,926	10,280	—	—
合計	12,837	12,549	13,750	14,845	17,270	17,585	—	—



## (4) 受注実績

(単位：百万円、%)

	2021年3月期第2四半期				2022年3月期第2四半期			
	受注高	前年同期比	受注残高	前年比	受注高	前年同期比	受注残高	前年比
日本	12,987	89.7	4,079	101.8	22,970	176.9	12,448	305.2
米州	4,316	94.4	1,689	127.7	7,405	171.6	3,520	208.3
EMEA	4,306	84.8	3,246	102.8	8,505	197.5	5,923	182.5
アジア・パシフィック	4,107	98.5	1,637	96.4	8,465	206.1	4,801	293.2
合計	25,718	90.9	10,653	104.6	47,347	184.1	26,694	250.6

## (5) キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	2021年3月期				2022年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	768	2,106	1,425	3,142	2,126	3,119	—	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△841	△541	△1,056	△707	△924	△748	—	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,193	△2,100	△1,505	△1,260	△1,451	△1,150	—	—
現金及び現金同等物期末残高	15,103	14,557	13,502	15,009	14,826	16,135	—	—

## (6) 設備投資額

(単位：百万円、%)

	2021年3月期				2022年3月期			
	第2四半期	前年同期比	通期	前年比	第2四半期	前年同期比	通期予想値	前年比
連結	1,588	121.1	3,567	133.4	1,135	71.5	2,500	70.1

## (7) 減価償却費

(単位：百万円、%)

	2021年3月期				2022年3月期			
	第2四半期	前年同期比	通期	前年比	第2四半期	前年同期比	通期予想値	前年比
連結	1,477	96.9	2,981	98.8	1,617	109.5	3,200	107.3

## (8) 研究開発費

(単位：百万円、%)

	2021年3月期				2022年3月期			
	第2四半期	売上比	通期	売上比	第2四半期	売上比	通期予想値	売上比
連結	923	3.6	2,343	4.3	1,230	3.5	2,500	3.7